

レジメン名	ドキシソルビシン膀胱腔内注入法						
対象疾患（癌腫）	膀胱腫瘍						
適応分類	<input checked="" type="checkbox"/> 初発・未治療 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 維持療法 <input type="checkbox"/> その他（難治性）						
No.	薬剤（商品名）	投与量 （基準値）	投与方法	ルート	投与時間 速度	投与日 （Day●）	投与上の注意
1	ドキシソルビシン塩酸塩注射用 製剤規格：10mg/5mL、50mg/25mL  生食（必要量）	30～60mg  1mg/mLの濃度に 調製	左記用量で30～ 60mgを、1日1回 膀胱注入			維持注入：週 1回を3回 単回注入：術 後24時間以内 に単回	
	<b>【膀胱腔内注入法】</b> ネラトシカテーテルで導尿し、十分に膀胱腔内を空にしたのち同カテーテルより、上記ドキシソルビシン塩酸塩注射用を膀胱腔内に注入し、1～2時間膀胱把持する。						
備考	・アドリアシン注用の添付文書に「生理食塩液で1～2mg（力価）/mLになるように溶解し膀胱腔内に注入」と記載あるため、希釈せずに投与も可とする。 ・維持注入の投与間隔及び投与回数は変更可とする。						
インターバル日数 （1コース期間）	規定なし						
総コース数	投与日の項を参照						
投与中止・延期基準 減量基準	萎縮膀胱：投与中止						
主な副作用	承認時及び副作用頻度調査において、919例中、膀胱刺激症状（33.9%）、発熱（1.2%）、食欲不振（1.1%）、白血球減少（1.0%）、萎縮膀胱（0.9%）、残尿感（0.9%）、脱毛（0.9%）						
レジメン解説 エビデンス資料 （国内で承認された用法・ 用量並びに投与経路が異なる 場合は必須）	添付文書 日本泌尿器科学会 膀胱癌診療ガイドライン 2019						